

中途退学者を早期に社会につなぐ!

— 高校中途退学者を就学・就労に導くためのアプローチ —

都立高校の中途退学者数
年間約 3,200 人 (※1)

1 校当たりの平均退学者数
全日制 8.5 人
定時制 30.2 人 (※2)

高校生の進路未決定卒業者
年間約 2,000 人 (※3)

高等学校を中途退学した若者の多くは、友人等によるインフォーマルな情報に頼り、適切な支援について情報が不足しているのが現状です。中途退学した若者に対して、教育機関や地域支援機関などが早期対応することの大切さや、再就学・就労に導く支援の方法を地域支援者と共に考える講習会です。

日時

平成27年**3月1日(日)**

午後2時から午後4時まで
(受付開始 午後1時30分)

入場無料

事前申込
定員 150 名

場所

東京都庁 都民ホール (都議会議事堂 1 階)

※裏面の地図を御参照ください。

※席に余裕がある
場合には当日受
付も行います。

対象

- 都民、保護者、民生委員・児童委員、青少年地区委員、保護司
- 民間支援機関の職員 (不登校や中途退学者等の相談に携わる地域支援者)
- 公的機関の職員 (学校関係機関、医療・保健・福祉関係機関、就労支援機関)

1 パネルディスカッション 午後2時～午後3時

「高校中途退学者を就学・就労に導くためのアプローチ」

- 【コメンテーター】 乾 彰夫 氏 (首都大学東京 都市教養学部 教授)
- 【パネリスト】 荒井 裕司 氏 (通信制サポート校 東京国際学園高等部 学園長)
長谷川 晃 氏 (あだち若者サポートステーション職員)
池戸 成記 氏 (都立高等学校教員)
- コーディネーター 児玉 大祐 (東京都 青少年・治安対策本部 青少年担当課長)

2 講演 午後3時～午後4時

「中途退学者の実情と、学校・家庭・地域で導く支援について」



- 講師：乾 彰夫 氏 (首都大学東京 都市教養学部 教授)
- 専門分野：教育学、中等教育論、青年期教育論
- 社会活動：内閣府「若者 (高等学校中途退学者) の意識に関する調査」委員、日本教育学会会員・常任理事、日本生活指導学会会員・理事など多数歴任
- 著書：『不安定を生きる若者たち—日英比較 フリーター・ニート・失業』(編著)
『18歳の今を生きぬく—高卒1年目の選択』(編著)

参加を希望される方は、裏面の参加申込書により、お申込みください。

※1,2 東京都教育委員会「平成25年度における児童・生徒の問題行動等の実態について」からの推計

※3 東京都教育委員会 平成25年「都立高校中途退学者と都立高校進路未決定卒業者」に対する追跡調査からの推計

講習会申込方法

- お申込みは、この参加申込書に必要事項をご記入いただき、ファクシミリまたは郵送にてお送りください。(郵送の場合、複写でも結構です。)

【郵送】〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1
都庁第一本庁舎 35 階北側
東京都 青少年・治安対策本部 青少年課 若年者対策係 宛

申込期限
平成27年
2/18(水)必着

ファクシミリ送付先 03-5388-1217

平成 26 年度 地域支援者向け講習会 参加申込書

氏名	【カタカナ表記でお願いします】
所属	<input type="checkbox"/> 都民、保護者、民生委員・児童委員、青少年地区委員、保護司 <input type="checkbox"/> 民間支援機関の職員（不登校や中途退学者等の相談に携わる地域支援者） <input type="checkbox"/> 公的機関の職員（学校関係機関、医療・保健・福祉関係機関、就労支援機関） <input type="checkbox"/> その他（ ）

※ 申込みにあたり、御記入いただきました個人情報、この講習会に関してのみ使用し他の目的には使用しません。
※ 当日の大雪や公共交通機関の大幅な乱れがあった場合、中止とさせていただきます。

会場 都民ホール（東京都庁都議会議事堂1階）
新宿区西新宿2-8-1
(※当日は、入口が「北側」1ヶ所になっています。)
・JR 新宿駅西口より徒歩 10 分
・都営大江戸線都庁前駅より徒歩 1 分

問合せ先 東京都 青少年・治安対策本部
青少年課 若年者対策係
電話：03-5388-2257
ファクシミリ：03-5388-1217
※問合せ時間は、平日午前9時から17時

